

新しい時代を築くー。

共に住んでよかつたと思える

まちづくりを進めていきます



日野町長 塔田 淳一

新しい時代を築く。わが町の今後の発展を誓って

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、健やかで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

「平成」から「令和」へ。昨年は新たな時代の幕開けであり、わが町にとつては町制施行60周年という記念すべき年でもありました。

各地でさまざまな記念イベントが催される中、町では、公式キャラクターの発表や記念植樹のほか、約4

年の歳月をかけて編さんされた「日野町誌 続編」も完成し、皆さまのお手元に届けることができました。

ふるさとの自然や歴史を後世に語り継いでいくことは、郷土を愛する心を養うだけでなく、地域の活性化にもつながります。先人の足跡をしのびながら、郷土への誇りと愛着を持ち、町の特徴を生かしたまちづくりを進めてまいります。

笑顔だけでなく交流も呼び寄せる「福よせ雛」に期待

町の人口を上回る3000

体以上のお雛さまにお越しいただいたのも昨年でした。「福よせ雛」の愛称で、金持テラスひのや町役場、町内各所で暮らすお雛さまに一年中会えたのではないのでしょうか。

見た人が思わず笑ってしまふ展示をし、その笑顔で福を呼び寄せようというこのプロジェクト。ふるさと住民票登録者数の増加や関係人口づくりに大いに貢献しています。今後、さらに多くの皆さんの関心を集め、金持神社やオシドリ、たたら製鉄に続く観光資源として発展していくことを

期待しています。

後継者問題、待ったなし。日野の農業を支えるために

まちづくりにおけるわが町の昨年の動きを各分野ごとに見ていくと、農業分野では町農業委員会が、7月から9月にかけて農家アンケートに取り組みしました。

その結果は、「後継者がいない農家60%」「所有している農地を維持できない農家30%」など、地域農業の存続へ待ったなしの状況が浮き彫りとなりました。

町では、アンケート結果

を踏まえ、農家の方をはじめ、農業委員会や行政など関係機関が連携し、誰もが安心して農業に従事できる仕組みづくり（地域プランの策定）や課題解決に取り組んでまいります。

人口減少社会にどう対応するか。具体的施策の展開を、少子高齢化が進む中で、人口減少の速度が増しています。現在策定中の「第2次きらり日野町創生戦略」では、第1期の成果と反省を踏まえ、人口減少社会における集落および生活機能

2019年まちのできごと

▼昨年まちの動きを「広報ひの」の記事から振り返ります

【1月】 伯耆の国・出雲街道根雨宿「福よせ雛」プロジェクトが始動。1日=金持神社初もうで。13日=黒坂地区でとんどさん。20日=「ひの郷会」「ふるさと住民票」合同交流会が大阪で初開催。27日=日野川で空手寒げいこ。

【2月】 9日=菅福地区伝統奇習行事「ホトホト」。24日=たたらフォーラム2019。26日=町観光協会が収益金の一部を町に寄付。

【3月】 百田利彦さん（黒坂）に瑞宝双光章。11日=ふるさと大賞2018、地域貢献賞に菅福元気邑。スポーツ功労賞に日野中学校男子ソフトテニス部の皆さんが受賞。17日=ひの歌謡・演芸大会。24日=都合山たたら遺跡でベンチ作りイベント。25日=オシドリをモチーフにしたご当地ナンバープレート交付式。高田昭徳さん（下黒坂）に第1号を交付。

【4月】 13～29日=滝山公園つつじまつり。22日=宝仏山登山道開き。27日=お試し住宅（舟場）活用イベント開催。

【5月】 西村和行さん（根雨）に藍綬褒章。14日=日野高校生徒が地域住民とおしどりトーク。18日=「みどりの愛護」功労者表彰に下黒坂地域保全会、黒坂小学校PTAの皆さん。29日=黒坂鏡山城下を知ろう会が駅前観光案内看板を設置。

【6月】 男女共同参画推進会議ひの（つくしんぼの会）が男女共同参画をテーマにしたかるたを作成。9日=鶴の池マラソン大会。13日=上谷春さん（久住）が全農乾椎茸品評会で農林水産大臣賞を受賞。14日=ホテル観察会とナイトウォーク。21日=副町長に音田 守さん（野田）。29日=ミンクス室内オーケストラコンサート。

【7月】 7日=金持テラスひの「海鮮・山鮮 まげなもん祭」。20日=ねう祭

り。26日=ひのっこ保育所でアユつかみ取り。28日=奥日野★星空プロジェクト 星空観望会。

【8月】 14日=根雨6区有志の会がそうめん流し（お盆子ども夏まつり）、「ひの郷会」「ふるさと住民票」夏の交流会。15日=日野町成人式。25日=お芝居くらぶさん・ふいーらど結成20周年記念公演。31日=菅福地区で炭づくり復活プロジェクトが始動。

【9月】 町制施行60周年記念事業として「日野町誌 続編」が発刊。13日=根雨小学校稲刈り。14日=根雨のまちなかで「花嫁行列と長持唄」。15日=早稲田大学の学生が日野町で研修（19日まで）。29日=日野町民体育祭（根雨・黒坂地区大会）。

【10月】 5日=金持テラスひの・特産品売場リニューアルオープン、菅福小さな花火大会。6日=全町一斉防災訓練、日野町防災フェア。14日=黒坂のまちなかで「お店がいっぱい！黒坂フェスタ」。17日=ひのっこ保育所サツマイモ掘り交流。27日=日野町制施行60周年記念式典、滝山公園で記念植樹、町公式キャラクターに山田愛莉さん（津地）の作品「しいたん」が決定。

【11月】 2日=とっとり共生の里「収穫祭」。3日=令和のふいご祭。9日=金持開運ウォーキング。10日=日野町民ミュージカル。15日=航空自衛隊ふれあいコンサート in ひの。17日=日野町役場地元改革（JK）課メンバーによるeスポーツ大会。23・24日=生きいき「ひの、ふれあいまつり」。23日=ソフトテニス講習会 in 日野町。

【12月】 3日=セルプひのが日野中学校3年生に絵馬を寄贈。12日=菅福除雪隊結団式。16日=日野高校魅力向上&日野郡ふるさと教育シンポジウム。

の維持などの視点を新たに
加えました。引き続き、移
住定住、子育て・教育、産業・
雇用対策などに取り組んで
まいります。

環境の維持と機能の充実を
図る地域包括ケアシステム
は、今後ますますその重要
度を増すことは間違いあり
ません。日野病院や日翔会、
鳥取大学医学部などと連携

を深めながら、皆さまの安
心安全な暮らしを支えてま
います。

人口が減少していく中で
も、人と人とのつながりを大
切にし、生きがいや安心を感

じられるまちづくりが求め
られます。暮らしている人た
ちが住んでよかったと思える
町、将来を担う子どもたち
に誇りをもって引き継げるま
ちづくりを進めていくため、

皆さんのご理解とご協力を
お願いいたします。

年頭にあたりまして、皆
様のご健勝とご多幸を心か
ら願いまして、新年のごあい
さつとさせていただきます。

2020年 新年のあいさつ